

ダブル・ブレイン

運用報告書(全体版)

第7期（決算日2025年11月25日）

作成対象期間（2024年11月23日～2025年11月25日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）	
信託期間	2018年11月9日から2028年11月22日までです。	
運用方針	外国投資法人であるマン・ファンズIXーマン・インスティテューショナル・ポートフォリオ・チタニウムー日本円クラスの円建ての外国投資証券および円建ての国内籍の投資信託である野村マネーインベストメント マザーファンド受益証券への投資を通じて、世界各国（新興国を含みます。）の株式、債券等を実質的な主要投資対象とし、株式、債券、商品等に関連するデリバティブ取引、為替予約取引等を実質的な主要取引対象とし、中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行なうことを基本とします。各証券への投資比率は、通常の状態においては、マン・ファンズIXーマン・インスティテューショナル・ポートフォリオ・チタニウムー日本円クラスの外国投資証券への投資を中心としますが、特に制限は設けず、各証券の収益性および流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。	
主な投資対象	ダブル・ブレイン	マン・ファンズIXーマン・インスティテューショナル・ポートフォリオ・チタニウムー日本円クラスの円建ての外国投資証券および野村マネーインベストメント マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。
	マン・ファンズIXーマン・インスティテューショナル・ポートフォリオ・チタニウムー日本円クラス 野村マネーインベストメント マザーファンド	世界各国（新興国を含みます。）の株式、債券等を実質的な主要投資対象とし、株式、債券、商品等に関連するデリバティブ取引、為替予約取引等を実質的な主要取引対象とします。 本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	ダブル・ブレイン	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行ないません。
	野村マネーインベストメント マザーファンド	株式への投資は行ないません。外貨建資産への投資は行ないません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

●サポートダイヤル

0120-753104（受付時間）営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<https://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 組 入 比 率	信 託 券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落 中 率					
3期(2021年11月22日)	円 13,984	円 0	% 17.8	% 0.0	% -	% 98.6	百万円 242,015		
4期(2022年11月22日)	11,977	0	△14.4	0.0	-	98.9	236,590		
5期(2023年11月22日)	11,757	0	△1.8	0.0	-	98.7	203,910		
6期(2024年11月22日)	12,210	0	3.9	0.0	-	98.8	167,124		
7期(2025年11月25日)	11,982	0	△1.9	0.0	-	98.2	126,037		

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準	価額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 組 入 比 率	信 託 券 率
		騰 落	率				
(期首) 2024年11月22日	円 12,210	% -	% 0.0	% -	% 98.8		
11月末	12,307	0.8	0.0	-	98.8		
12月末	12,185	△0.2	0.0	-	97.5		
2025年1月末	12,328	1.0	0.0	-	98.8		
2月末	12,484	2.2	0.0	-	98.8		
3月末	12,106	△0.9	0.0	-	98.9		
4月末	11,040	△9.6	0.0	-	99.2		
5月末	11,054	△9.5	0.0	-	98.5		
6月末	11,289	△7.5	0.0	-	99.0		
7月末	11,393	△6.7	0.0	-	98.9		
8月末	11,461	△6.1	0.0	-	98.8		
9月末	11,788	△3.5	0.0	-	98.8		
10月末	12,384	1.4	0.0	-	98.9		
(期末) 2025年11月25日	11,982	△1.9	0.0	-	98.2		

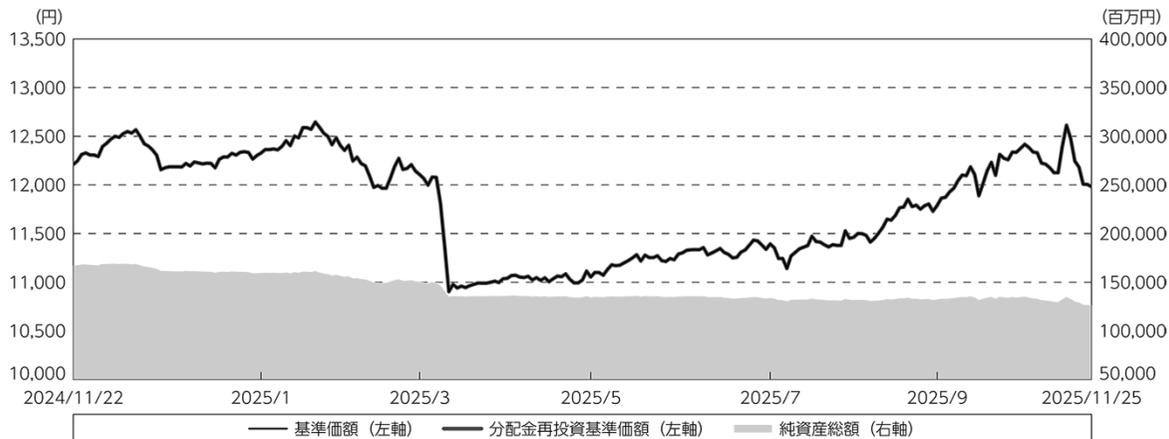
*騰落率は期首比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2024年11月22日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の変動要因

世界各国(新興国を含みます。)の株式、債券等への実質的な投資、および、株式、債券、商品等に関連するデリバティブ取引、為替予約取引等からのキャピタルゲイン(またはロス)(価格変動損益)

為替取引によるコスト(金利差相当分の費用)またはプレミアム(金利差相当分の収益)

○投資環境

【世界株式市場】

株式市場は、2024年11月に再選したトランプ大統領による減税などの経済政策への期待から2025年2月までは上昇基調となりました。その後、米政権の関税政策が景気のスタグフレーション（景気後退下のインフレ）懸念を強めたことから株式市場は反落し、4月前半には相互関税を巡る不透明感から急落する場面もありましたが、それ以降は貿易摩擦の緩和やFRB（米連邦準備制度理事会）による利下げなどを受けて投資家のリスク選好姿勢が強まり、株式市場は大きく上昇しました。

【世界債券市場】

債券市場は、トランプ大統領の政策に対する思惑や、堅調な景気動向を背景に、2025年1月中旬まで債券価格は下落（金利は上昇）する展開となりましたが、その後は、関税政策による景気への懸念が強まったことやFRBの金融緩和スタンスにより、米国債を中心に世界債券は価格上昇（金利は低下）しました。

【為替市場】

為替市場は、当作成期間の前半は、2025年1月の日銀による追加利上げ決定を受けて円高ドル安が進展しましたが、後半は高市新首相による財政拡大の期待を背景に、円安ドル高となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

【ダブル・ブレイン】

[マン・ファンズ区ーマン・インスティテューショナル・ポートフォリオ・チタニウムー日本円クラス] および [野村マネーインベストメント マザーファンド] 受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする [マン・ファンズ区ーマン・インスティテューショナル・ポートフォリオ・チタニウムー日本円クラス] 受益証券への投資比率を概ね90%以上に維持しました。

【マン・ファンズ区ーマン・インスティテューショナル・ポートフォリオ・チタニウムー日本円クラス】

世界各国（新興国を含みます。）の株式、債券等を実質的な主要投資対象とし、株式、債券、商品等に関連するデリバティブ取引、為替予約取引等を実質的な主要取引対象とします。

○当作成期におけるファンドの騰落率はマイナスとなりました。ファンドに対するマイナスの影響が大きかったのは、セクター別では債券・金利などで、個別の寄与度ではS&P500指数、ASX200指数などでした。

【野村マネーインベストメント マザーファンド】

残存1年以内の公社債等（現先取引も含む）やコール・ローン等で運用を行なうことで、安定した収益と流動性の確保を図りました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

◎分配金

収益分配金については、利子・配当等収入、信託報酬などの諸経費を勘案して分配を行いませんでした。

留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第7期
	2024年11月23日～ 2025年11月25日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,083

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

【ダブル・ブレイン】

〔マン・ファンズⅩーマン・インスティテューショナル・ポートフォリオ・チタニウムー日本円クラス〕 受益証券および〔野村マネーインベストメント マザーファンド〕 受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする〔マン・ファンズⅩーマン・インスティテューショナル・ポートフォリオ・チタニウムー日本円クラス〕 受益証券への投資比率を概ね90%以上に維持します。

【マン・ファンズⅩーマン・インスティテューショナル・ポートフォリオ・チタニウムー日本円クラス】

世界各国（新興国を含みます。）の株式、債券等を実質的な主要投資対象とし、株式、債券、商品等に関連するデリバティブ取引、為替予約取引等を実質的な主要取引対象とすることにより、中期的な収益の獲得を目指します。

また、米ドル売り円買いの為替ヘッジを機動的に行ないます。

【野村マネーインベストメント マザーファンド】

残存1年以内の公社債等（現先取引も含む）やコール・ローン等で運用を行なうことで、安定した収益と流動性の確保を図ります。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

※店頭デリバティブ取引に関する国際的な規制強化について

店頭デリバティブ取引等の金融取引に関して、国際的に規制の強化が行なわれており、ファンドが実質的に活用する当該金融取引が当該規制強化等の影響を受け、当該金融取引を行なうための担保として現金等を提供する必要がある場合があります。その場合、追加的に現金等を保有するため、ファンドの実質的な主要投資対象の組入比率が下がり、高位に組入れた場合に期待される投資効果が得られないことが想定されます。また、その結果として、実質的な主要投資対象を高位に組入れた場合と比べてファンドのパフォーマンスが悪化する場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年11月23日～2025年11月25日)

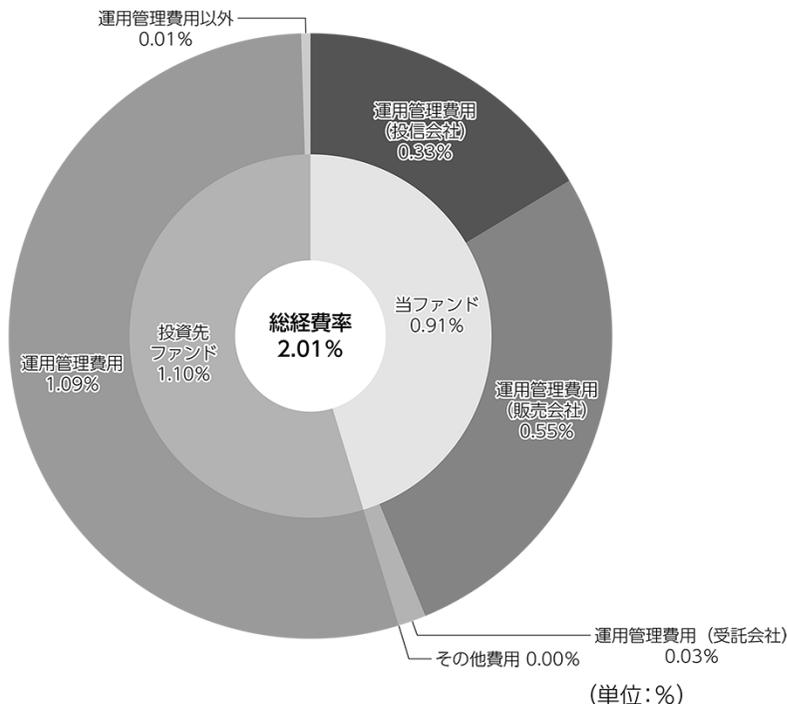
項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 109	% 0.921	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(39)	(0.333)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(66)	(0.555)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(4)	(0.033)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0.003	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	109	0.924	
期中の平均基準価額は、11,818円です。			

- * 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.01%です。



総経費率 (①+②+③)	2.01
①当ファンドの費用の比率	0.91
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.09
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 当ファンドの費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 投資先ファンドの費用は、投資先ファンドの開示基準に基づき算出したものです。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券等（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドのその他費用には、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用が含まれます。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドの純資産総額等によっては、投資先ファンドの運用管理費用以外の比率が高まる場合があります。

(注) 投資先ファンドの費用は、交付運用報告書作成時点において、委託会社が知りうる情報をもとに作成しています。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年11月23日～2025年11月25日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	マン・ファンズIX-マン・インスティテューショナル・ポートフォリオ・チタニウム-日本円クラス	口 —	千円 —	口 3,076,539	千円 39,395,300

*金額は受け渡し代金。

*金額の単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年11月23日～2025年11月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年11月25日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		期首(前期末)	当期末		
		口数	口数	評価額	比率
	マン・ファンズIX-マン・インスティテューショナル・ポートフォリオ・チタニウム-日本円クラス	口 12,665,236	口 9,588,696	千円 123,750,277	% 98.2
	合計	12,665,236	9,588,696	123,750,277	98.2

*比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

*評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託残高

銘柄		期首(前期末)	当期末	
		口数	口数	評価額
	野村マネーインバストメント マザーファンド	千口 99	千口 99	千円 100

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2025年11月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 123,750,277	% 97.3
野村マネーインベストメント マザーファンド	100	0.0
コール・ローン等、その他	3,391,774	2.7
投資信託財産総額	127,142,151	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年11月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	127,142,151,571
コール・ローン等	2,637,838,180
投資信託受益証券(評価額)	123,750,277,782
野村マネーインベストメント マザーファンド(評価額)	100,249
未収入金	753,900,000
未収利息	35,360
(B) 負債	1,104,372,046
未払解約金	478,439,960
未払信託報酬	623,677,890
その他未払費用	2,254,196
(C) 純資産総額(A-B)	126,037,779,525
元本	105,191,299,502
次期繰越損益金	20,846,480,023
(D) 受益権総口数	105,191,299,502口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,982円

(注) 期首元本額は136,870,605,015円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は31,679,305,513円、1口当たり純資産額は11,982円です。

○損益の状況 (2024年11月23日～2025年11月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	9,924,995
受取利息	9,924,995
(B) 有価証券売買損益	△ 1,090,583,046
売買益	1,262,491,967
売買損	△ 2,353,075,013
(C) 信託報酬等	△ 1,324,675,523
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 2,405,333,574
(E) 前期繰越損益金	△ 2,834,121,713
(F) 追加信託差損益金	26,085,935,310
(配当等相当額)	(7,318,577,198)
(売買損益相当額)	(18,767,358,112)
(G) 計(D+E+F)	20,846,480,023
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	20,846,480,023
追加信託差損益金	26,085,935,310
(配当等相当額)	(7,318,577,198)
(売買損益相当額)	(18,767,358,112)
分配準備積立金	14,600,027,357
繰越損益金	△19,839,482,644

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2024年11月23日～2025年11月25日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2024年11月23日～ 2025年11月25日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	7,318,577,198円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	14,600,027,357円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	21,918,604,555円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	2,083円
g. 分配金	0円
h. 分配金(1万円当たり)	0円

○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

○お知らせ

「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正に伴い、運用報告書の電子交付に関する条文を変更する所要の約款変更を行ないました。 <変更適用日：2025年4月1日>

マン・ファンズⅨーマン・インスティテューショナル・ ポートフォリオ・チタニウムー日本円クラス

2024年12月31日決算

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

形 態	ケイマン諸島籍外国投資法人
投 資 対 象	世界各国(新興国を含みます。)の株式、債券等を実質的な主要投資対象とし、株式、債券、商品等に関連するデリバティブ取引、為替予約取引等を実質的な主要取引対象とします。
投 資 方 針	「マン・ファンズⅨーマン・インスティテューショナル・ポートフォリオ・チタニウム」はマン・グループが運用を行なうマスターファンドを通じて、世界各国(新興国を含みます。)の株式、債券等を実質的な主要投資対象とし、株式、債券、商品等に関連するデリバティブ取引、為替予約取引等を実質的な主要取引対象とすることにより、中期的な収益の獲得を目指します。
管 理 会 社	マン・アセット・マネジメント(ケイマン)リミテッド
投 資 顧 問 会 社	マン・ソリューションズ・リミテッド
管 理 事 務 代 行 会 社 名 義 書 換 事 務 受 託 会 社	BNY メロン・ファンド・サービス(アイルランド)ディー・エー・シー
保 管 会 社	ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン

*作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成いたしております。

損益計算書

2024年12月31日に終了する計測期間

	米ドル
投資収益	
受取利息	42,059,766
投資収益合計	<u>42,059,766</u>
費用	
運用報酬	13,511,866
支払利息	153,411
サービス管理報酬	55,916
保管報酬	19,315
取締役報酬	6,286
雑費用	43,547
費用合計	<u>13,790,341</u>
純投資損益	<u>28,269,425</u>
投資有価証券、デリバティブおよび外国通貨に係る実現純損益および未実現評価損益の変動額	
投資有価証券、デリバティブおよび外国通貨に係る実現純損益	18,749,902
投資有価証券、デリバティブおよび外国通貨に係る未実現評価損益の純変動額	<u>(166,945,097)</u>
投資有価証券、デリバティブおよび外国通貨に係る実現純損益および未実現評価損益の変動額	<u>(148,195,195)</u>
運用による純資産の純増減額	<u><u>(119,925,770)</u></u>

投資明細表

(2024年12月31日現在)

買建有価証券およびデリバティブ(公正価値)

銘柄	償還頻度	償還通知期間	数量/額面金額	公正価値 (米ドル)	純資産比率 (%)
買建有価証券(公正価値)					
国債					
アメリカ					
United States Treasury Bill 0% 06/02/25			65,000,000	64,733,843	6.47%
United States Treasury Bill 0% 27/02/25			100,000,000	99,342,770	9.93%
United States Treasury Bill 0% 13/03/25			100,000,000	99,187,311	9.92%
United States Treasury Bill 0% 20/03/25			65,000,000	64,419,655	6.44%
United States Treasury Bill 0% 17/04/25			100,000,000	98,790,432	9.88%
United States Treasury Bill 0% 24/04/25			100,000,000	98,711,413	9.87%
United States Treasury Bill 0% 15/05/25			100,000,000	98,474,406	9.86%
アメリカ合計(取得原価:\$617,160,056)				623,659,830	62.37%
国債合計(取得原価:\$617,160,056)				623,659,830	62.37%
マネージド・ファンズ					
バミューダ					
AHL Evolution Ltd*	Daily	1 Day	1,450	16,175,953	1.62%
AHL Institutional Series 3 Ltd*	Daily	1 Day	304,835	56,110,802	5.61%
バミューダ合計(取得原価:\$75,862,648)				72,286,755	7.23%
ケイマン諸島					
AHL TargetRisk Master Limited*	Daily	1 Day	820,769	261,548,210	26.15%
ケイマン諸島合計(取得原価:\$243,497,938)				261,548,210	26.15%
マネージド・ファンズ合計(取得原価:\$319,360,586)				333,834,965	33.38%
買建有価証券(公正価値)合計(取得原価:\$936,520,642)				957,494,795	95.75%
買建デリバティブ(公正価値)					
為替先渡契約					
各種通貨				1,545,601	0.15%
為替先渡契約合計				1,545,601	0.15%
買建デリバティブ(公正価値)合計				1,545,601	0.15%
買建有価証券およびデリバティブ(公正価値)合計(取得原価:\$936,520,642)				959,040,396	95.90%

売建デリバティブ(公正価値)

	公正価値 (米ドル)	純資産比率(%)
売建デリバティブ(公正価値) 為替先渡契約 各種通貨	(34,611,378)	(3.46%)
為替先渡契約合計	(34,611,378)	(3.46%)
売建デリバティブ(公正価値)合計	(34,611,378)	(3.46%)

* マネージド・ファンズは、関係ポートフォリオ・マネージャーによって運用されているため、本ファンドの関係ファンドである。関係ポートフォリオ・マネージャーによっていかなる運用報酬も成功報酬もマネージド・ファンズに対して課金されていない。

野村マネーインベストメント マザーファンド

運用報告書

第15期（決算日2025年2月18日）

作成対象期間（2024年2月20日～2025年2月18日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とし、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行いません。
主な投資対象	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。

野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<https://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純資産額
		期騰	落中率			
11期(2021年2月18日)	円 10,029		% △0.0	% 59.8	% —	百万円 20
12期(2022年2月18日)	10,023		△0.1	0.3	—	3,520
13期(2023年2月20日)	10,020		△0.0	0.3	—	3,450
14期(2024年2月19日)	10,017		△0.0	0.6	—	1,984
15期(2025年2月18日)	10,033		0.2	62.6	—	20

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

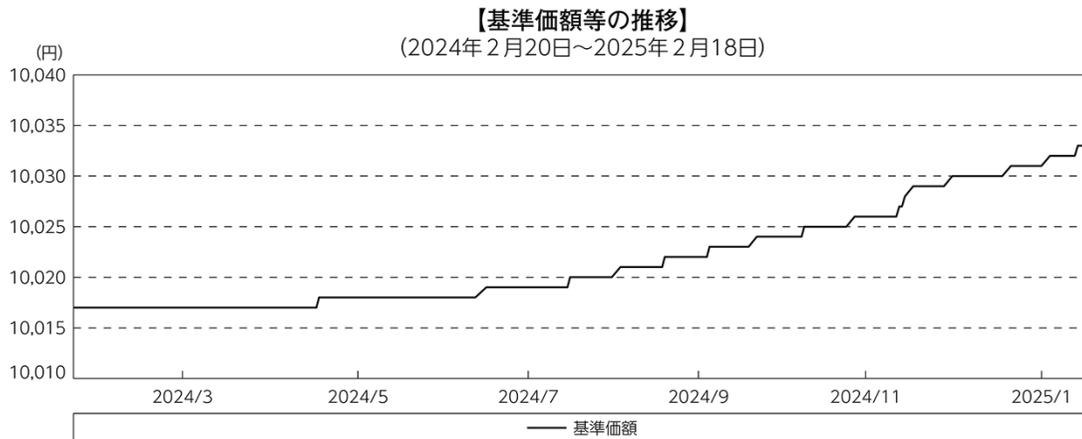
年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	債券率
		騰	落率			
(期首) 2024年2月19日	円 10,017		% —	% 0.6	% —	% —
2月末	10,017		0.0	0.6	—	—
3月末	10,017		0.0	7.1	—	—
4月末	10,017		0.0	19.7	—	—
5月末	10,018		0.0	55.5	—	—
6月末	10,018		0.0	55.0	—	—
7月末	10,019		0.0	—	—	—
8月末	10,020		0.0	55.5	—	—
9月末	10,022		0.0	55.0	—	—
10月末	10,024		0.1	55.5	—	—
11月末	10,026		0.1	55.4	—	—
12月末	10,030		0.1	62.6	—	—
2025年1月末	10,031		0.1	62.6	—	—
(期末) 2025年2月18日	10,033		0.2	62.6	—	—

*騰落率は期首比です。

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

投資している短期有価証券やコール・ローン等からのインカムゲイン（利子収入）等。

○投資環境

国内経済は、緩やかな回復が続きました。このような中、日銀は2024年3月にマイナス金利政策を解除するとともに、無担保コール翌日物レートの誘導目標を0%～0.1%程度とし、その後段階的に0.5%程度まで引き上げました。

TDB（国庫短期証券）3ヵ月物の利回りは当作成期を通して上昇しました。

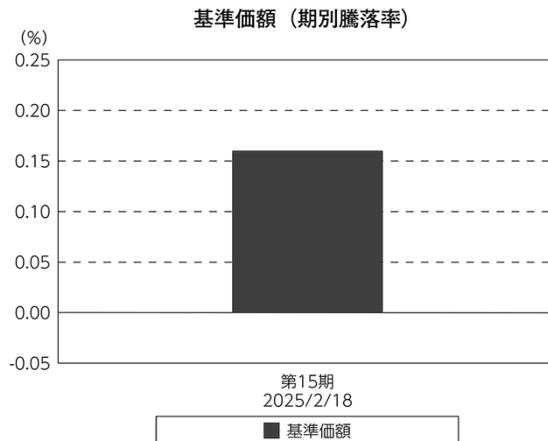
○当ファンドのポートフォリオ

残存1年以内の公社債等の短期有価証券やコール・ローン等で運用を行なうことで、安定した収益と流動性の確保を図りました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



◎今後の運用方針

残存1年以内の公社債等の短期有価証券やコール・ローン等で運用を行なうことで、安定した収益と流動性の確保を図ります。

引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○1万口当たりの費用明細

(2024年2月20日～2025年2月18日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2024年2月20日～2025年2月18日)

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国	国債証券	189,355,997	189,341,037 (3,000)
内	特殊債券	—	— (11,000)

*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

*単位未満は切り捨て。

*()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2024年2月20日～2025年2月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年2月18日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当期末							
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
国債証券	13,000 (13,000)	12,999 (12,999)	62.6 (62.6)	— (—)	— (—)	— (—)	62.6 (62.6)	
合計	13,000 (13,000)	12,999 (12,999)	62.6 (62.6)	— (—)	— (—)	— (—)	62.6 (62.6)	

*()内は非上場債で内書きです。

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

*金額の単位未満は切り捨て。

*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	柄	当 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券		%	千円	千円	
国庫短期証券	第1214回	—	10,000	9,999	2025/2/20
国庫短期証券	第1269回	—	3,000	2,999	2025/2/25
合 計			13,000	12,999	

*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2025年2月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 12,999	% 62.6
コール・ローン等、その他	7,771	37.4
投資信託財産総額	20,770	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年2月18日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	20,770,925
コール・ローン等	7,771,221
公社債(評価額)	12,999,601
未収利息	103
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A-B)	20,770,925
元本	20,702,369
次期繰越損益金	68,556
(D) 受益権総口数	20,702,369口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,033円

(注) 期首元本額は1,980,739,296円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は1,960,036,927円、1口当たり純資産額は1.0033円です。

○損益の状況 (2024年2月20日～2025年2月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,921,839
受取利息	1,932,927
支払利息	△ 11,088
(B) 有価証券売買損益	△ 9,090
売買益	48
売買損	△ 9,138
(C) 当期損益金(A+B)	1,912,749
(D) 前期繰越損益金	3,310,285
(E) 解約差損益金	△5,154,478
(F) 計(C+D+E)	68,556
次期繰越損益金(F)	68,556

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

ファンド名	当期末
	元本額
	円
ノルディック社債ファンド 為替ヘッジあり	9,952,230
ノルディック社債ファンド 為替ヘッジなし	9,952,230
グローバル・ダイナミック・ボンド・ファンド Aコース	99,771
グローバル・ダイナミック・ボンド・ファンド Bコース	99,771
ダブル・ブレイン・コア (マイルド)	99,771
ダブル・ブレイン・コア (スタンダード)	99,771
ダブル・ブレイン・コア (ブル)	99,771
ダブル・ブレイン (マイルド)	99,721
ダブル・ブレイン (ブル)	99,721
ダブル・ブレイン	99,612

○お知らせ

投資信託約款に規定している委託者が行なう公告を掲載する当社ホームページのアドレスを「<http://www.nomura-am.co.jp/>」から「<https://www.nomura-am.co.jp/>」に変更する必要の約款変更を行ないました。

＜変更適用日：2024年7月4日＞